



小4算数

学習指導要領改訂に伴う

移行措置資料

おうちの方といっしょにお読みください。

① 学習指導要領と移行措置とは…

小学生のみなさんが受ける授業は、文部科学省が定める「学習指導要領」にもとづいて進められています。

平成20年(2008年)、この学習指導要領が改められ、平成23年度(2011年度)から、新しい学習指導要領が実施されることになりました。平成21年度と平成22年度は、新学習指導要領への移行期間にあたります。

移行期間中は、新学習指導要領の一部が適用されることになるため、現在の指導内容に追加や省略、移動などが行われます。これを「移行措置」といいます。小学生のみなさんは、今この移行措置にそった授業を受けているのです。

※新学習指導要領や移行措置についてのよりくわしい情報は、下記サイトをごらんください。

 <http://www.gakken.co.jp/CN/ikou>

① 小学4年算数の移行措置はどうなる？

この冊子では、移行措置によって追加される次の内容をあつかっています。次のページからの要点のまとめと例題、練習問題を利用して学習を進めてください。

●もくじ●

1. 計算の見積もり …… 2	5. 垂直と平行 …… 11
2. 小数のかけ算とわり算 … 4	6. 四角形 …… 12
3. 分数 …… 7	7. 立体 …… 14
4. 計算のきまり …… 10	● 練習問題の答え …… 16



1. 計算の見積もり

要点のまとめ 和と差の見積もり

見積もりのしかた 和や差をある位までのがい数で求めるときは、それぞれの数を求める位までのがい数にして計算する。

以上・以下・未満 5以上…5に等しいか、5より大きい数
5以下…5に等しいか、5より小さい数
5未満…5より小さい数(5は入らない)

例題1 A市の人口は27394人、B市の人口は64503人です。2つの市の人口の和と差は、それぞれ約何万何千人ですか。

とき方 求めたいのは、千の位までだから、27394、64503を千の位までのがい数にすると、

$$\begin{array}{r} 27\mathbf{3}94 \rightarrow 27000 \\ \uparrow \text{百の位を四捨五入} \\ 64\mathbf{5}03 \rightarrow 65000 \end{array} \left. \begin{array}{l} \text{和} \cdots 27000 + 65000 = 92000 \\ \text{差} \cdots 65000 - 27000 = 38000 \end{array} \right\}$$

答 和…約92000人、差…約38000人

練習問題答えは16ページ

- 次の□にあてはまる数を書きましょう。
 - 10以上20以下の整数は□個です。
 - 30未満の2けたの整数は□個です。
- 東町の人口は6052人、西町の人口は3645人です。2つの町の人口の和と差は、それぞれ約何千何百人ですか。
- 95450円のテレビと154750円のパソコンがあります。
 - テレビとパソコンのねだんの合計は約何万円ですか。
 - テレビとパソコンのねだんのちがいは約何万円ですか。

要点のまとめ 積と商の見積もり

見積もりのしかた かけ算の積やわり算の商を見積もるときは、ふつう、積…かけられる数とかける数
商…わられる数とわる数
を、上から2けためを四捨五入して、上から1けたのがい数にして計算します。

商の見積もりでは、わられる数を上から2けたのがい数、わる数を上から1けたのがい数にして計算し、商を上から1けたのがい数で表すしかたもあります。

例題2 次の計算の積や商を、上から1けたのがい数にするしかたで見積もりましょう。

- 536×274
- $391 \div 54$

とき方 ① 536, 274を上から1けたのがい数にすると、 $\begin{cases} 536 \rightarrow 500 \\ 274 \rightarrow 300 \end{cases}$
積の見積もりは、 $500 \times 300 = 150000$
② 391, 54を上から1けたのがい数にすると、 $\begin{cases} 391 \rightarrow 400 \\ 54 \rightarrow 50 \end{cases}$
商の見積もりは、 $400 \div 50 = 8$

答 ① 約150000 ② 約8

練習問題答えは16ページ

- 次の計算の積や商を、上から1けたのがい数にするしかたで見積もりましょう。
 - 183×329
 - 6472×451
 - $905 \div 26$
 - $7529 \div 183$
- 2けたの整数に3けたの整数をかけると、積は何けたの整数になりますか。□にあてはまる数を書きましょう。
いちばん小さい数は、 $10 \times \square = \square$ いちばん大きい数は、 $99 \times \square = \square$ このことから、積は□けたか□けたになります。



2. 小数のかけ算とわり算

要点のまとめ 小数のかけ算

小数×整数

小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算し、かけられる数の小数点にそろえて積の小数点をうちます。

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

1.3の3の下に4を書く。

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times 4 \\ \hline 5.2 \end{array}$$

整数のかけ算と同じように計算する。

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times 4 \\ \hline 5.2 \end{array}$$

かけられる数にそろえて、積の小数点をうつ。

例題1 次の計算を筆算でしましょう。

① 24.6×3

② 3.8×15

とき方

① $\begin{array}{r} 24.6 \\ \times 3 \\ \hline 73.8 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 24.6 \\ \times 3 \\ \hline 73.8 \end{array} \dots \text{答}$

② $\begin{array}{r} 3.8 \\ \times 15 \\ \hline 190 \\ 38 \\ \hline 570 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 3.8 \\ \times 15 \\ \hline 190 \\ 38 \\ \hline 57.0 \end{array} \dots \text{答}$

練習問題

.....答えは16ページ

① 次の計算をしましょう。

① 0.4×3

② 0.3×9

③ 0.7×6

④ 0.8×5

② 次の計算をしましょう。

① $\begin{array}{r} 4.2 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$

② $\begin{array}{r} 5.8 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$

③ $\begin{array}{r} 3.5 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 62.9 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$

③ 次の計算をしましょう。

① $\begin{array}{r} 2.3 \\ \times 12 \\ \hline \end{array}$

② $\begin{array}{r} 5.7 \\ \times 48 \\ \hline \end{array}$

③ $\begin{array}{r} 7.4 \\ \times 65 \\ \hline \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 3.5 \\ \times 60 \\ \hline \end{array}$

要点のまとめ 小数のわり算(1)

小数÷整数

整数のわり算と同じように計算し、わられる数の小数点にそろえて商の小数点をうちます。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 4 \overline{)7.2} \\ \underline{4} \\ 3 \end{array}$$

一の位の7を4でわる。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 4 \overline{)7.2} \\ \underline{4} \\ 3 \end{array}$$

わられる数の小数点にそろえて、商の小数点をうつ。

$$\begin{array}{r} 1. \\ 4 \overline{)7.2} \\ \underline{4} \\ 32 \end{array}$$

$\frac{1}{10}$ の位の2をおろす。

$$\begin{array}{r} 1.8 \\ 4 \overline{)7.2} \\ \underline{4} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

32を4でわる。 $32 \div 4 = 8$

例題2 次の計算を筆算でしましょう。

① $23.8 \div 7$

② $8.4 \div 14$

とき方

① 商は十の位にはたさないで、一の位からたてて計算します。

$$\begin{array}{r} 3.4 \dots \text{答} \\ 7 \overline{)23.8} \\ \underline{21} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$$

② 商の一の位に0を書き、小数点をうってから計算を進めます。

$$\begin{array}{r} 0.6 \dots \text{答} \\ 14 \overline{)8.4} \\ \underline{8} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

練習問題

.....答えは16ページ

④ 次の計算をしましょう。

① $4 \overline{)6.4}$

② $6 \overline{)4.2}$

③ $3 \overline{)74.1}$

④ $5 \overline{)34.5}$

⑤ 次の計算をしましょう。

① $13 \overline{)9.1}$

② $26 \overline{)7.8}$

③ $32 \overline{)76.8}$

④ $41 \overline{)24.6}$



2. 小数のかけ算とわり算

要点のまとめ 小数のわり算(2)

あまりのあるわり算

小数 ÷ 整数 の計算では、あまりの小数点は、わられる数の小数点にそろえてうちます。

$$53.7 \div 4 = 13 \text{ あまり } 1.7$$

53.7 ÷ 4 の筆算

$$\begin{array}{r}
 13 \\
 4 \overline{) 53.7} \\
 \underline{4} \\
 13 \\
 \underline{12} \\
 17
 \end{array}$$

わり進むわり算

わり算では、わられる数の右に0をつけたして、わり進むことができます。

例題3 わりきれるまで計算しましょう。

① $45 \div 6$

② $9.2 \div 5$

とき方

① $6 \overline{) 45.0}$ ← .0は書かなくてよい。
 $\underline{30}$ ← 0をつけたす。
 $\underline{30}$
 0 ← 0になるまで計算する。

② $5 \overline{) 9.20}$ ← 0は書かなくてよい。
 $\underline{42}$
 $\underline{40}$
 $\underline{20}$ ← 0をつけたす。
 $\underline{20}$
 0 ← 0になるまで計算する。

練習問題答えは16ページ

⑥ 商を一の位まで求め、あまりも出しましょう。

① $3 \overline{) 79.4}$ ② $8 \overline{) 35.9}$ ③ $4 \overline{) 83.7}$ ④ $7 \overline{) 56.2}$

⑦ わりきれるまで計算しましょう。

① $4 \overline{) 70}$ ② $6 \overline{) 27}$ ③ $4 \overline{) 54.6}$ ④ $15 \overline{) 69.3}$



3. 分数

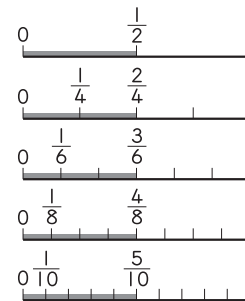
要点のまとめ 大きさの等しい分数

等しい分数

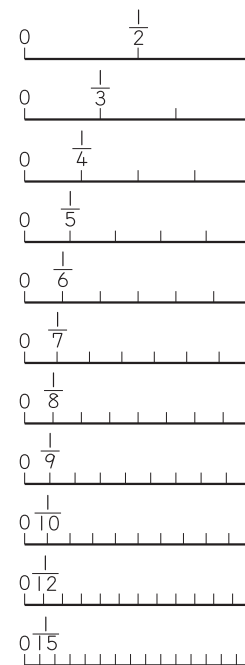
右の数直線から、

$$\frac{1}{2}, \frac{2}{4}, \frac{3}{6}, \frac{4}{8}, \frac{5}{10}$$

は大きさの等しい分数であることがわかります。このように、分数には、分母と分子がちがっていても大きさの等しいものがあります。



例題1 右の数直線を見て、 $\frac{1}{3}$ と大きさの等しい分数を見つけましょう。



とき方

数直線をたてに見て、0からのきりりが $\frac{1}{3}$ の目もりまでと等しい目もりの分数を見つけます。

答 $\frac{2}{6}, \frac{3}{9}, \frac{4}{12}, \frac{5}{15}$

練習問題答えは16ページ

① 右の数直線を見て、次の□にあてはまる数を書きましょう。

① $\frac{1}{4} = \frac{\square}{8} = \frac{3}{\square}$ ② $\frac{3}{5} = \frac{\square}{10} = \frac{\square}{15}$

③ $\frac{2}{3} = \frac{\square}{6} = \frac{6}{\square} = \frac{\square}{12} = \frac{10}{\square}$

要点的まとめ 分数のたし算とひき算(1)

分数のたし算とひき算 分母が同じ分数どうしのたし算やひき算では、分母はそのままにして、分子だけをたしたり、ひいたりします。

真分数+真分数

$$\frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$$

分子どうしをたす
分母はそのまま

真分数-真分数

$$\frac{3}{5} - \frac{2}{5} = \frac{1}{5}$$

分子どうしをひく
分母はそのまま

式の中に、**仮分数**があるときも、**真分数**どうしの場合と同じように計算できます。

例題2 次の計算をしましょう。

① $\frac{2}{4} + \frac{3}{4}$

② $\frac{9}{7} - \frac{2}{7}$

とき方 ① $\frac{2}{4} + \frac{3}{4} = \frac{5}{4} (=1\frac{1}{4})$ …答

答えが仮分数になるときは、そのままでも、**帯分数**に直してもよいです。

② $\frac{9}{7} - \frac{2}{7} = \frac{7}{7} = 1$ …答

答えが整数に直せるときは、整数に直して答えま

練習問題答えは16ページ

② 次の計算をしましょう。

① $\frac{2}{7} + \frac{3}{7}$

② $\frac{3}{5} + \frac{4}{5}$

③ $\frac{5}{9} + \frac{4}{9}$

④ $\frac{2}{3} - \frac{1}{3}$

⑤ $\frac{5}{8} - \frac{2}{8}$

⑥ $\frac{6}{7} - \frac{4}{7}$

③ 次の計算をしましょう。

① $\frac{2}{3} + \frac{5}{3}$

② $\frac{8}{7} + \frac{9}{7}$

③ $\frac{7}{4} + \frac{5}{4}$

④ $\frac{5}{4} - \frac{2}{4}$

⑤ $\frac{9}{5} - \frac{4}{5}$

⑥ $1 - \frac{4}{9}$

要点的まとめ 分数のたし算とひき算(2)

帯分数のたし算とひき算

整数部分と分数部分に分けて計算

$$2\frac{1}{5} + 1\frac{3}{5} = 3\frac{4}{5}$$

整数部分をたす
分数部分をたす

帯分数を仮分数に直して計算

$$2\frac{1}{5} + 1\frac{3}{5} = \frac{11}{5} + \frac{8}{5} = \frac{19}{5} (=3\frac{4}{5})$$

仮分数に直す
仮分数に直す

例題3 $2\frac{2}{7} - \frac{5}{7}$ を計算しましょう。

とき方 $\frac{2}{7}$ から $\frac{5}{7}$ はひけないので、 $2\frac{2}{7}$ の整数部分から1くり下げて、 $1\frac{9}{7}$ として計算します。

$$2\frac{2}{7} - \frac{5}{7} = 1\frac{9}{7} - \frac{5}{7} = 1\frac{4}{7} \dots \text{答}$$

または、帯分数を仮分数に直して計算してもよいです。

練習問題答えは16ページ

④ 次の計算をしましょう。

① $1\frac{1}{9} + \frac{1}{9}$

② $\frac{3}{8} + 2\frac{2}{8}$

③ $1\frac{2}{5} + 3\frac{1}{5}$

④ $3\frac{1}{6} + 2\frac{5}{6}$

⑤ $1\frac{4}{5} - \frac{2}{5}$

⑥ $2\frac{6}{7} - \frac{2}{7}$

⑤ 次の計算をしましょう。

① $1\frac{1}{3} - \frac{2}{3}$

② $2\frac{2}{9} - \frac{7}{9}$

③ $3\frac{1}{7} - \frac{3}{7}$

⑥ ジュースが $1\frac{2}{5}$ l あります。このうち何 l を飲んだら、残りは $\frac{4}{5}$ l になりました。ジュースを何 l 飲みましたか。



4. 計算のきまり

要点的まとめ 計算のきまり

()を使った式

$$(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$$

$$(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$$

たし算

$$\blacksquare + \bullet = \bullet + \blacksquare$$

$$(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$$

かけ算

$$\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$$

$$(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$$

わり算

$$\blacksquare \div \bullet = (\blacksquare \times \blacktriangle) \div (\bullet \times \blacktriangle)$$

$$\blacksquare \div \bullet = (\blacksquare \div \blacktriangle) \div (\bullet \div \blacktriangle)$$

これらの計算のきまりは、整数だけでなく、小数についても成り立ちます。

例題1 次の計算を、くふうしてしましう。

- ① $8.9 + 3.8 + 6.2$
- ② $3.7 \times 25 \times 4$
- ③ $29 \div 5$

とき方

- ① $3.8 + 6.2 = 10$ であることを利用する。
 $8.9 + 3.8 + 6.2 = 8.9 + (3.8 + 6.2) = 8.9 + 10 = 18.9$ …答
- ② $25 \times 4 = 100$ であることを利用する。
 $3.7 \times 25 \times 4 = 3.7 \times (25 \times 4) = 3.7 \times 100 = 370$ …答
- ③ $5 \times 2 = 10$ であることを利用する。
 $29 \div 5 = (29 \times 2) \div (5 \times 2) = 58 \div 10 = 5.8$ …答

練習問題

……答えは16ページ

① 次の計算を、くふうしてしましう。

- ① $2.6 + 9.7 + 7.4$
- ② $4.9 \times 8 \times 25$
- ③ $34 \div 5$
- ④ $72 \div 18$
- ⑤ $4.7 \times 6 + 5.3 \times 6$
- ⑥ $0.7 \times 36 - 0.7 \times 16$
- ⑦ 2.5×28
- ⑧ 9.8×5

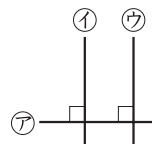


5. 垂直と平行

要点的まとめ 垂直と平行

垂直

直角に交わる2本の直線は、^{すいちよく}垂直であるといひます。(アとイ, アとウ)

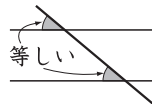


平行

1本の直線に垂直な2本の直線は、^{へいごう}平行であるといひます。(イとウ)

平行な直線の性質

- ① 平行な直線のはばは、どこも等しくなっていて、どこまでのばしても交わりません。
- ② 平行な直線は、ほかの直線と等しい角度で交わります。

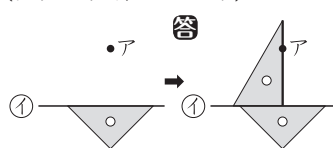


例題1 2まいの三角じようぎを使って、点アを通して、直線①に垂直な直線と平行な直線をかきましよう。

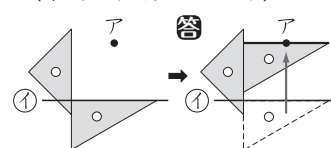
ア

とき方

(垂直な直線のかき方)



(平行な直線のかき方)

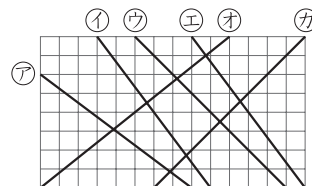


練習問題

……答えは16ページ

① 右の図を見て、次のような直線を答えましよう。

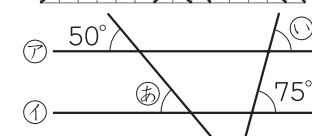
- ① 垂直な直線はどれとどれですか。
- ② 平行な直線はどれとどれですか。



② 右の図で、直線アとイは平行です。

あ、いの角度は何度ですか。

③ 2まいの三角じようぎを使って、たて2cm、横3cmの長方形をかきましよう。



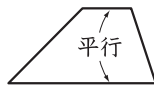


6. 四角形

要点のまとめ 台形・平行四辺形・ひし形

台形

向かい合った1組の^{へん}が平行な四角形を台形といいます。



平行四辺形

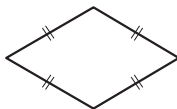
向かい合った2組の辺が平行な四角形を平行四辺形といいます。



向かい合った辺の長さは等しい。
向かい合った角の大きさは等しい。

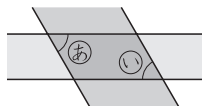
ひし形

4つの辺の長さがみな等しい四角形をひし形といいます。



向かい合った辺は平行。
向かい合った角の大きさは等しい。

例題1 右の図のように、はばのちがう2本の長方形のテープを重ねたら、重なった部分は四角形になりました。㊸の角度が 60° のとき、㊹の角度は何度ですか。



とき方

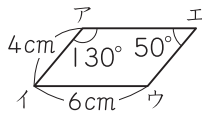
向かい合った2組の辺が平行だから、重なった部分の四角形は平行四辺形になる。平行四辺形の向かい合った角の大きさは等しいから、㊸の角度は、㊹の角度と等しく、 60° …答

練習問題

……答えは16ページ

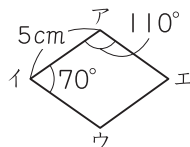
① 右の図の四角形アイウエは平行四辺形です。

- ① 辺ウエの長さは何cmですか。
- ② 角イの大きさは何度ですか。



② 右の図の四角形アイウエはひし形です。

- ① ひし形のまわりの長さは何cmですか。
- ② 角ウの大きさは何度ですか。



要点のまとめ 四角形の対角線、四角形のかき方

対角線

四角形の向かい合ったちょう点をつないだ直線を対角線たいかくせんといいます。四角形には2本の対角線があります。

四角形の対角線

○はいつでもあてはまることを、×はそうでないことを表します。

	台形	平行四辺形	ひし形	長方形	正方形
対角線がそれぞれのまん中の点で交わる	×	○	○	○	○
対角線の長さが等しい	×	×	×	○	○
対角線が直角に交わる	×	×	○	×	○

平行四辺形のかき方

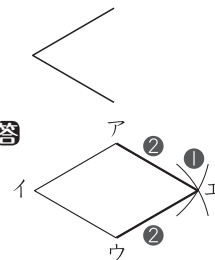
向かい合った辺の長さが等しいことを利用して、等しい長さをコンパスでうつしとってかきます。

例題2 右の図は、ひし形の2つの辺です。これをもとにして、コンパスとじょうぎを使って、ひし形を完成させましょう。

とき方

- ① 点ア、ウを中心にして、半径アイの円の部分をかく。
- ② 2つの円の部分の交わる場所を点エとして、エとア、ウをむすぶ。

答



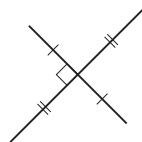
練習問題

……答えは16ページ

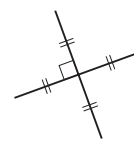
③ 右の図は、平行四辺形の2つの辺です。これをもとにして、コンパスとじょうぎを使って、平行四辺形を完成させましょう。

④ 2本の対角線が、次の図のように交わっている四角形は、何という四角形ですか。ただし、同じ印ししは長さが等しいことを表しています。

①



②



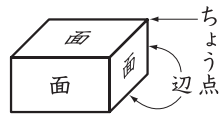


7. 立体

要点的まとめ 直方体と立方体

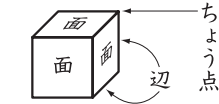
直方体

長方形だけで囲まれた形や、長方形と正方形で囲まれた形を直方体といいます。



立方体

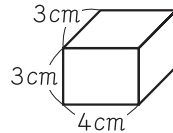
正方形だけで囲まれた形を立方体といいます。



見取図と展開図

直方体などの全体の形がわかるようにかいた図を、見取図といいます。また、直方体などを切り開いて、平面上に広げた図を、展開図といいます。

例題1 右の直方体の見取図をかきましょう。また、展開図もかきましょう。

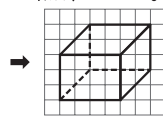
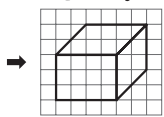
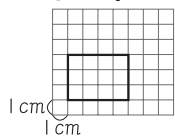


とき方

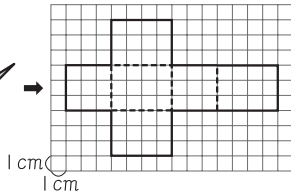
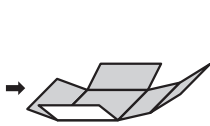
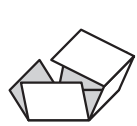
正面の長方形をかく。

となり合った面をかく。

見えない辺は点線でかく。



…見取図答



…展開図答

練習問題

………答えは 16 ページ

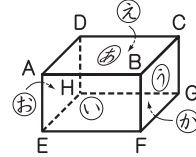
① 直方体と立方体の面の数、辺の数、ちょう点の数を調べ、右の表にまとめましょう。

	面の数	辺の数	ちょう点の数
直方体			
立方体			

要点的まとめ 辺や面の垂直・平行

辺や面の垂直

左の直方体で、



辺 AB と垂直な辺…辺 AD, 辺 BC, 辺 AE, 辺 BF
 辺 AD と垂直な面…①の面, ②の面
 ⑥の面と垂直な面…①の面, ③の面, ④の面, ⑤の面

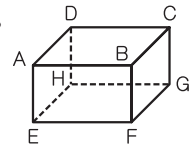
辺や面の平行

上の直方体で、

辺 AB と平行な辺…辺 DC, 辺 EF, 辺 HG
 辺 AB と平行な面…④の面, ⑤の面
 ⑥の面と平行な面…③の面

例題2 右の直方体について、次の問いに答えましょう。

- ① 辺 AE に垂直な辺はいくつありますか。
- ② 辺 AE に平行な辺はいくつありますか。



とき方

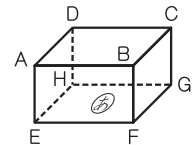
- ① 辺 AB, 辺 AD, 辺 EF, 辺 EH の 4 つ。…答
- ② 辺 BF, 辺 CG, 辺 DH の 3 つ。…答

練習問題

………答えは 16 ページ

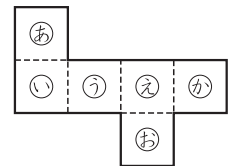
② 右の直方体について、次の問いに答えましょう。

- ① 辺 BF に垂直な面はいくつありますか。
- ② 辺 BF に平行な面はいくつありますか。
- ③ ⑥の面に垂直な面はいくつありますか。
- ④ ⑥の面に平行な面はいくつありますか。



③ 右の図は立方体の展開図です。これを組み立てたとき、次の問いに答えましょう。

- ① ⑥の面に垂直な面を全部書きましょう。
- ② ④の面に垂直な面を全部書きましょう。
- ③ ⑥の面に平行な面を書きましょう。
- ④ ⑤の面に平行な面を書きましょう。



練習問題の答え

1. 計算の見積もり

- ①① 11 ② 20 ②和…約 9700 人, 差…約 2500 人
 ③①約 250000 円 ②約 50000 円 ④①約 60000 ②約 3000000
 ③約 30 ④約 40 ⑤(順に)100, 1000, 999, 98901, 4, 5

2. 小数のかけ算とわり算

- ①① 1.2 ② 2.7 ③ 4.2 ④ 4 ②① 12.6 ② 40.6 ③ 21 ④ 251.6
 ③① 27.6 ② 273.6 ③ 481 ④ 210
 ④① 1.6 ② 0.7 ③ 24.7 ④ 6.9 ⑤① 0.7 ② 0.3 ③ 2.4 ④ 0.6
 ⑥① 26 あまり 1.4 ② 4 あまり 3.9 ③ 20 あまり 3.7 ④ 8 あまり 0.2
 ⑦① 17.5 ② 4.5 ③ 13.65 ④ 4.62

3. 分数

- ①①(順に)2, 12 ②(順に)6, 9 ③(順に)4, 9, 8, 15
 ②① $\frac{5}{7}$ ② $\frac{7}{5}(1\frac{2}{5})$ ③ 1 ④ $\frac{1}{3}$ ⑤ $\frac{3}{8}$ ⑥ $\frac{2}{7}$
 ③① $\frac{7}{3}(2\frac{1}{3})$ ② $\frac{17}{7}(2\frac{3}{7})$ ③ 3 ④ $\frac{3}{4}$ ⑤ 1 ⑥ $\frac{5}{9}$
 ④① $1\frac{2}{9}(\frac{11}{9})$ ② $2\frac{5}{8}(\frac{21}{8})$ ③ $4\frac{3}{5}(\frac{23}{5})$ ④ 6 ⑤ $1\frac{2}{5}(\frac{7}{5})$ ⑥ $2\frac{4}{7}(\frac{18}{7})$
 ⑤① $\frac{2}{3}$ ② $1\frac{4}{9}(\frac{13}{9})$ ③ $2\frac{5}{7}(\frac{19}{7})$ ⑥ $\frac{3}{5}l$

4. 計算のきまり

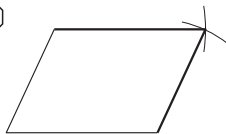
- ①① 19.7 ② 980 ③ 6.8 ④ 4 ⑤ 60 ⑥ 14 ⑦ 70 ⑧ 49
 とき方 ⑥ $0.7 \times 36 - 0.7 \times 16 = 0.7 \times (36 - 16) = 0.7 \times 20 = 14$
 ⑦ $2.5 \times 28 = 2.5 \times 4 \times 7 = 10 \times 7 = 70$
 ⑧ $9.8 \times 5 = (10 - 0.2) \times 5 = 10 \times 5 - 0.2 \times 5 = 50 - 1 = 49$

5. 垂直と平行

- ①①ウとカ ②イとエ ②あ 50° , い 75° ③図はしょうりゃく

6. 四角形

- ①① 4cm ② 50° ②① 20cm ② 110° ③
 ④①ひし形 ②正方形



7. 立体

①

	面の数	辺の数	ちょう点の数
直方体	6	12	8
立方体	6	12	8

- ②① 2つ ② 2つ ③ 4つ
 ④ 1つ

- ③①い, う, え, か ②あ, い, え, お ③お ④い